

特別委員会委員長報告

3月定例会における特別委員会からの報告を掲載します

行財政改革推進特別委員会

住宅新築資金等貸付金の滞納整理の状況

収納率については、抵当物件の売却、競売配当で約418万円の収納があり、前年比で収納率が高くなった。

市営住宅使用料等の滞納整理の状況

滞納分の連帯保証人に催告し、完納となり滞納額が減少した。今後も徴収率を落とさないように、粘り強く対応するよう申し添えた。

指定管理の状況 (物部支所分)

体験実習館の指定管理料は、平成22年べふ峡保勝会と香美市の協議により算定。べふ峡休憩所の収支状況は黒字で推移し、両施設とも現在は、公募によらない指定管理者である。

指定管理の状況 (香北支所分)

6施設とも集会所の要件を加味し、公募によらない方式で指定管理を行っている。利用料金は、各指定管理者からの利用料金承認申請があり承認している。

市有財産の管理・活用 状況

遊休地の利用転用等については、全施設の現状把握や分析ができた時点で、庁議等で施設全体の管理に関する基本方針を決定し、議会や市民とも情報の共有を図る。



定住人口増加促進特別委員会

農業者のニーズ調査について

農地法における下限面積の設定基準、別段面積の設定基準、また農地の所有権や利用権などの権利を取得する際の下限面積を1ヶ所とした島根県雲南市の例等の説明を受け、質疑・意見交換等を行った。

移住希望者・定住者の農業に対するニーズ調査について

都市部で行われた移住相談会、香美市移住体験ツアーのアンケート調査から見た農業に対するニーズについて質疑・意見交換等を行った。

香美市移住定住交流センター業務の進捗状況について

「年間10組の移住を実現する」との目標につき説明を受け、質疑・

意見交換等を行った。

市街化調整区域内の規制緩和に向けた開発許可権限委譲について

委員会発足当初よりは審査を進め、「線引きは維持しつつも、連たん等も含め、規制緩和による定住政策を進めていく」との方向性が示されており、現状は従来と大きく変わっていないが、引き続き注視していくこととした。

NPO法人いなかみ

前回以降の経過、進捗状況や課題、いなかみの主催する第3回目の移住体験ツアー「農とナニカのはじめ方」について説明を受け、質疑・意見交換等を行った。

いなかみとの情報交換は、移住定住希望者のより良い移住定住に向けた取り組みを進め

市長に提言

「空き家付き農地」の売買においては、遊休農地であること、移住者であること、農業者であることを条件に、農地の所有権や利用権などの権利を取得する際の下限面積を1筆ごとの指定とし、別段面積の要件を緩和し、空き家の増加、耕作放棄地の拡大を防ぐとともに、移住定住人口増加の促進を図ること。

ていく視点からも、今後も定期的に行うこととした。

本市の農地法下限面積に関する意見のとりまとめについて

これまでの審査・協議を踏まえ、市長に対し提言書を提出した。